

料金別納  
郵便

ゆうメール

# 梅光

題字は初代学院長 広津 藤吉先生



第3号



舞囃子「復活のキリスト」宝生流

シテ：宝生和英

©公益社団法人宝生会・一般社団法人梅光学院同窓会

## Contents

- P. 2 法人化記念講演会『能 is FUN!』
- P. 6 心に残る聖句 平井祐美子
- P. 7 恩師は現在<sup>いま</sup>
- P. 8 卒業生の近況
- P.10 梅光メモリアルデー 梅原久美子牧師
- P.11 第2回「会員の集い」ご報告
- P.12 2024～2025年度 社員総会報告  
ご挨拶 中田 早苗
- P.13 2024年度 会計報告／社員募集
- P.14 2024年度 運営費寄付者
- P.16 2025年度 第3回「会員の集い」ご案内



©公益社団法人宝生会・一般社団法人梅光学院同窓会  
「能 is FUN!」第二部 装束着付け実演

一般社団法人 梅光学院同窓会  
〒750-8511 下関市向洋町 1-1-1  
TEL:083-227-1111 Email:info@baiko.net



## 特集 法人化記念講演会

# 『能 is FUN!』開催のご報告とお礼

令和7年2月16日(日)午後2時より下関市民会館大ホールにて、  
一般社団法人梅光学院同窓会 法人化記念講演会『能 is FUN!』を開催しました。  
今回は社会貢献事業として一般公開し、年齢制限なし、入場無料での開催となりました。  
当日は480名の方がご来場くださり、407通のアンケートを回収しました。  
多くの方々にご来場ならびにご協力いただき、ありがとうございました。



舞囃子『復活のキリスト』宝生流  
シテ：宝生和英  
©公益社団法人宝生会・一般社団法人梅光学院同窓会



©公益社団法人宝生会・一般社団法人梅光学院同窓会  
『能 is FUN!』第一部 講演会

ほうしょう かずふさ  
講師 **宝生 和英氏**

### PROFILE

1986年東京生まれ。父、第19世宗家宝生英照に師事。2008年に宝生流第20代宗家を継承。NHK大河ドラマ「篤姫」「天地人」に出演。第40回松尾芸能賞新人賞受賞。2023年ミラノ大学客員教授。2024年Disney+配信のドラマ「SHOGUN 将軍」では劇中能の監修・制作を行う。2024年週刊少年サンデー新連載マンガ『シテの花 -能楽師・葉賀琥太郎の咲き方-』を監修。

写真撮影／日下まりあ(高70)

### プログラム

- 第一部 宝生和英氏 講演  
『伝統を未来へ繋ぐ』
- 第二部 装束着付け実演  
モデル 宝生和英  
着付け 木谷哲也  
上野能寛
- 第三部 舞囃子『復活のキリスト』  
シテ 宝生和英  
笛 相原一彦  
小鼓 横山幸彦  
大鼓 白坂保行  
太鼓 吉谷 潔  
地謡 木谷哲也  
上野能寛

- 【主催】 一般社団法人梅光学院同窓会
- 【特別協力】 公益社団法人宝生会
- 【後援】 山口県、山口県教育委員会、  
下関市、下関市教育委員会、  
(公財)下関市文化振興財団、  
山口新聞社、毎日新聞社、  
西日本新聞社、カモンエフエム、  
KRY 山口放送

# 幸せなひととき

江原 千花 (高66・音38)

同窓会の法人化から早くも3年が経ちました。以前は、年に一度の同窓会総会のなかでさまざまなことを話し合っていました。が、一般社団法人となつてからは、企画や話し合いの場を同窓生による「社員総会」が担い、また、以前の同窓会総会は「会員の集い」となり、恩師・同窓生の集う懇親会として例年開催しています。

法人化してまもない頃から、社員総会では「法人化を記念してなにか社会貢献のイベントをしたい!」「同窓会の存在をもっと地域にアピールしたい」「地域の方々や、今の学生さんにも楽しんでいただける機会を作りたい」そんな熱い声が飛び交っていました。とはいえ、これまでに経験したことのない法人化の手続きや、体制を整えるために多くの話し合いと作業が必要となり、法人化後2期目にしてようやく創立からの念願だった法人化記念講演会を企画するに至りました。

当日記入いただいたアンケートでは9割近いお客様から「とてもよかった」「よかった」とのお声をいただき、大成功を収めました。アンケート集計結果とお客様からのご感想はホームページに公開しています。事前の告知方法や会場の空調など反省点も幾つかありましたが、総合的に見て非常に



©公益社団法人宝生会・一般社団法人梅光学院同窓会

爽り多い講演会となりました。「このような文化的な企画があれば、また参加したい」とのお声もたくさんお寄せいただきました。また、ロビーでは寄付箱にお立ち寄りくださったお客様も多く、同窓会の活動全体に対する運営費として62,756円、今後の社会貢献企画運営費として41,739円のご寄付をいただきました。たくさんのご協力ありがとうございました。

開催にあたっては、講師の宝生流第20代宗家 宝生和英先生、シテ方と囃子方の先生方を始め、公益社団法人宝生会のご担当者様、多くの方にお力添えをいただきました。1時間の講演は能楽の歴史や現在を映像付きでわかりやすく、第二部では、普段見ることのできない「能装束を着付けていく過程」を、舞台上で楽しい解説とともに見せていただきました。舞囃子を装束付き特別演出にてご提案いただき、さらに現行曲ではない『復活のキリスト』を今回のためにご準備いただくなど、今振り返るとかなりご無理をお願いしてしまったようにも思えますが、企画趣旨にご賛同いただいたことで全面的にご協力を賜り、たいへん豪華なプログラムとなりました。柔軟なご対応に心から感謝申し上げます。

同窓生の先輩方や後輩にも、準備から広報デザイン、当日のお客様対応、舞台写真撮影まで多岐にわたるお仕事をご担当いただきました。講演会の企画内容はすべて社員総会で決定され、予算や開催時期を決めていきました。同窓会会長を始め、チラシとポスターが完成してからは社員それぞれが“広報隊長”としてあちらこちらへ直接



©公益社団法人宝生会・一般社団法人梅光学院同窓会  
「能 is FUN!!」第二部 装束着付け実演 モデル：宝生和英 着付け：木谷哲也、上野能寛

◆装束着付け実演。能装束は紐で重さを支えているそうです。

出向き、ご案内や掲示をして回りました。当日スタッフは29名、高3期卒から高70期卒までの同窓生が集まり、先輩も後輩も一緒になって準備から片付けまで行ないました。

東駅にある同窓会室では、火曜日と金曜日のお昼、限られた時間の中で事務作業が進められました。市内の学校89校と公共施設52件へのご案内状及びチラシ発送。当日のプログラムやアンケート用紙の作成・集計など。クリスマスカード発送や会員名簿管理などの日常業務に加えて、講演会にまつわる膨大な作業を滞りなく処理していただけたことは、本当に感謝です。

講演会担当理事は山下雅子さん、今道裕美さん、江原の3名でした。至らないところばかりの私にも「もし失敗しても、カバーしてあげるから、まずは自由にやってごらん」と、挑戦の機会を与えてくださり、不足するところについては随時細やかにご指導いただくという、なんとも贅沢な経験を



◆囃子方の並び方は「五人囃子と同じ並び」とのお話でした。

させていただきました。講演会当日が近づくにつれて気持ちが焦ってしまう中でも、いつも隣には優しく声をかけてくださる先輩方のお姿。ただただ温かい気持ちをいただくばかりで、何度心の涙を拭いていただいたことか数え切れません。梅光を卒業してもなお、育まれている、教えていただいていると感じる、幸せなひとときです。この場をお借りしてお礼申し上げます。

## 舞囃子「復活のキリスト」について

本曲は1957年、ドイツ人宣教師であったヘルマン・ホイヴェルスと宝生流第17代宗家 宝生九郎によって制作されました。その後は長らく上演の機会がなく、2017年に日本バチカン国交樹立75周年を記念してバチカン領カンチレリア宮殿にて第20代宗家 宝生和英の補作により復曲されました。

舞囃子とは能のクライマックスのみを紋付袴にて囃子を入れて上演する形式ですが、今回の講演会では装束の着付け実演とあわせた特別演出で上演されました。

## ご来場いただいた方からのご感想

「能 is FUN!」に家族で参加し、あらためて能楽の奥深さと魅力を感じました。

私は大学時代、妻が能楽部に所属していたことから、京都の能楽堂や平安神宮の薪能に足を運ぶ機会が多く、特に能楽の音楽に強く惹かれてきました。能楽が始まると、日常から切り離されたような、音の中に没入する独特の感覚を当時味わっていました。

今回、能楽がもともと「鑑賞する芸能」ではなく、太極拳のように「演じる芸能」として発展してきたというお話があり、過去の自分の体験と重ねて非常に興味深く感じました。能楽は、ただエンターテインメント

として受け取るだけでなく、空間や時間を包み込む「アンビエントカルチャー」としての側面も持っているというお話は、自分の経験を踏まえてとても腑に落ちるものでした。

また、能楽師による装束の着付け実演も、最初は驚きましたが、なかなか見る機会のないものですし、舞台の裏側を垣間見ることができ、11歳の息子も目を輝かせていました。

伝統芸能の見たことのない一面を家族で共有できたことを嬉しく思います。企画していただきありがとうございました。

# 母校と今もつながって



濱野 恵 (高44)

進路に悩んでいた高3の夏、広告やポスターなど、身の回りの印刷物は誰かがデザインしていることに気づきました。「グラフィックデザイナー」という仕事があると知り、「これをやりたい」と強く心を動かされたのを今でも覚えています。

親を説得して進学を決め、美術の松岡敏行先生にご指導をお願いしました。放課後、先生のご自宅で入試に必要なデッサンを基礎から教えていただき、希望していた短大

のデザイン科に進学することができました。

卒業後は地元のデザイン会社に就職し、28歳で独立。以来24年、下関市の広報誌や学校案内、チラシやパッケージなどの印刷物のデザインに携わっています。

長く続けてきたこの仕事が、思いがけず母校とつながるきっかけにもなりました。梅光学院同窓会の法人化記念講演会のチラシデザインをご依頼いただいたのです。

久しぶりにお会いした同窓会会長の片山先生(現理事)、理事の江原さんとの打ち合わせも楽しく、再び母校とつながったことが何より嬉しく感じました。

母校と再びつながる機会に恵まれたことにあらためて感謝しています。そして、あの夏に心が動いた瞬間を、これからも大切にしていきたいです。

※イラストはチャットGPTにクリムト風に描いてもらった似顔絵です。

## 来場者アンケートより (一部を抜粋してご紹介します)

### 【第一部 講演について】

- 異文化交流の本質は相互のリスペクトという言葉にあらためて感激した。
- 時代背景を知ると、今を生きる私たちにとってのヒントがたくさんありますね。能の見方も変わってきます。

### 【第二部 装束着付け実演について】

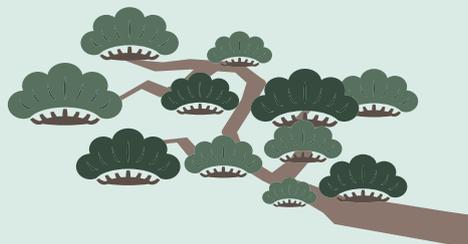
- 装束着付けが特に印象深かった。
- 何枚も重ねて大変な作業で感心いたしました。

### 【第三部 舞囃子『復活のキリスト』について】

- 歌詞みたいなのがあるとより楽しめる。
- 迫力あるお囃子など、大変すばらしかった。
- 舞台は初めてでしたが、心が澄む感じがしました。テレビなどで観た時には得られない気持ちでした。みなさんの息がひとつになっていました。

### 【その他、全体の感想】

- もっと見たいと思いました。終わった後「行かないで～」と思いました。
- ボヤっとしていた能楽の姿がはっきりと見えてきた。特に日本の独自文化と違っていたものが、世界との関わりの中で生まれたということは、考えてもみなかったのが驚いた。
- “本物を見なさい”という広津先生、佐藤先生のお言葉を思い出しました。
- 同窓会が社会とかかわりを持ちながら歩んでいくことに大賛成。





## 心に残る聖句

平井祐美子 (高29・大日11)

「主はわたしの牧者であって、わたしには乏しいことがない。  
 主はわたしを緑の牧場に伏させ、いこいのみぎわに伴われる。  
 主はわたしの魂をいきかえらせ、み名のためにわたしを正しい道に導かれる。  
 たといわたしは死の陰の谷を歩むとも、わざわいを恐れませんが、  
 あなたがわたしと共におられるからです。  
 あなたのむちと、あなたのつえはわたしを慰めます。  
 あなたはわたしの敵の前で、わたしの前に宴を設け、  
 わたしのこうべに油をそそがれる。わたしの杯はあふれます。  
 わたしの生きているかぎりには必ず恵みといつくしみとが伴うでしょう。  
 わたしはとこしえに主の宮に住むでしょう。」

(詩篇 23 篇 1～6 節)

3年前に少し厄介な病を得て入院しました。病室でこれから自分はどうなるのか、元気になれるのか、家族の事など、くよくよ心配して不安で眠れなかった深夜、ふと、この詩篇 23 篇が口をついて出てきたのです。もちろん、正確に暗記していたわけではなかったのですが、自分でもちょっと驚いてしまいました。そしてこの聖句が半世紀以上も前に朝の礼拝で暗唱していた聖書箇所のひとつだという事を思い出しました。特に「たといわたしは死の陰の谷を歩むとも、わざわいを恐れませんが」という一節に大きな慰めと希望を感じたのです。

何が起ころうと私たちに命を与えてくださった神は最期まで支えてくださるはずだ、私をひとりには決してなさない、だから大丈夫、できるだけ前向きでいようと思えるようになったのです。

中高生だった頃の私は半世紀後、まさか自分が病床で暗唱聖句に助けられるなんて想像もしていなかったでしょう。思えば、みんなで歌った讃美歌も先生方の日々のメッセージも、特別なもの以外は毎日いただく食事と同じように今はほぼ記憶に残っていません。けれど毎朝積み重ねた礼拝の時間が私たちの心を今までずっと支えてくれていたのだと気づかされ、感謝の気持ちでいっぱいです。



# 恩師は現在

## 近況



### 渡辺 玄英

梅光学院大学文学部  
日本文学科准教授  
(2011年～2018年在職)

現在、文芸誌への執筆の他、4つの大学で講義をしています。秋にはシンポジウム「交差する生成AIと現代詩」を福岡で開催予定です。また、北川透先生(元教授)や卒業生と、詩と批評の文芸誌「鯨々」を6年前から刊行しています。文学の最先端課題にトライする意識は「文学の梅光」の遺風に他なりません。今後も微力ながら大切に受け継いでいくつもりです。

すでに梅光を離職して7年ですがご縁は続いています。大学教職員の裁判支援や待

遇改善交渉にも関わり、昨年度の職員の賃下げを阻止するなど成果がありました。

その他、梅光図書館が廃棄した大量の書籍を回収し、元・現教員数名と有志の方のキャンパで借りた空家で保管しています。中には、故佐藤泰正先生の蔵書(片山宣子氏の依頼で保管中)や故磯田光一先生(元教授)の蔵書や書簡といった文学研究の一級資料、さらに数千冊の貴重な論文集も含まれています。こうした活動への同窓生みなさまのご支援に対して、この場を借りて心より御礼申し上げます。

目下、元梅光大の安道百合子先生(現大分大学)と卒業生でその目録を作成しているところです。将来的には、保管蔵書を安心して託せる受け入れ先を見つけることが課題です。梅光と文学の遺産を守るため、この活動を粘り強く続けていきます。

## 未来(2035年)からの近況報告



### 岡崎新太郎

梅光学院第7代院長  
(1981年～2010年在職)

みなさまお世話になりました。今、「ももとせ」という地元の介護老人保健施設で日々楽しい日々を送らせていただいています。

私の住んでいる「放牧町」(豊北町)の人口は10年前の2025年の3割。鹿、猿、猪、熊の数は人間1人に対して100匹です。でも、どっこい生活は成り立っているのです。田畑の周りに10年前に獣被害防止柵を設置したことが功を奏し、私も農業を昨年まで続けてきました。5年前から「ももとせ」に有機

のお米をわずかばかり提供できて喜びとしていましたが、もう体が動かなくなったので「ももとせ」に昨年入所させていただきました。

「ももとせ」を逆に読むと「背と腿」になります。背中が弱って目が自分のへそを見なくても済むように、腿の筋肉を鍛えてさっそうと歩けるようになりたいのです。施設のお医者様は入所者の年齢の上の方々と同じですが、皆のために頑張っているのを見てくださっています。看護師や介護士、保健の先生経験のある入所者が仲間にあれこれとアドバイスをしています。

私は入所時に「ヤギ小屋に入れてください」とお願いしました。餌を食べるとき以外は、ぼうっと遙か遠方を視ている、永遠を望み視ているヤギたちの姿に感動したからです。永遠の命に結びつけられた生活を送らせていただいています。

## 卒業生の近況



宮田 京子 (院後日6)

懐かしい青春時代がよみがえってきます。佐世保市内の高校を卒業後、梅光女学院大学の文学部日本文学科へ入学。その後、修士2年、博士5年、日本文学研究室での勤務が2年。10代後半から30代前半、人生で最も希望に満ちた時代を、梅光で過ごさせていただきました。60歳を過ぎた今から振り返ると、約40年前のことになります。

梅ヶ峠での寮生活、学食や「六角堂」と呼ばれた喫茶店、校門の向かい側にあった「喫茶はなふうせん」。家庭教師のバイトを毎日掛け持ちして働いた苦学生の私は、なけなしのお金をやりく

りして、食事や友人たちとの会話を楽しみました。充実した図書館で過ごすことが、学生としての満ち足りた時間。どれもみな、懐かしい思い出です。

その後、希望の研究職を目指しつつ、高校の講師を23年勤める最中に父が病に倒れ、町議会議員の現職で亡くなったので、その後を受け36歳で地元の議員に初当選。当時は長崎県で一番若い女性の議員でした。3期目に第21代議長となり、40歳代の女性の議長は全国で「1」、まだまだ女性の政治家が珍しい時代でした。

その後、佐世保市と合併。現在は、佐世保市議会議員の2期目。総務委員長や議会運営委員会の副委員長等の役職をいただき、毎日目まぐるしい日々を送っています。

私の「人」としての成長を導いてくれた梅光学院での尊い時間を、とてもありがたく思っています。本学のますますのご発展とご繁栄、同窓生のみなさまのご健勝を、心よりお祈り申し上げます。





福田 麗  
(高69・音41)

幼い頃からミュージカルと共に育ち、梅光に入学してから温かな出逢いと環境に恵まれ、より一層ひたむきに芸事に勤しみ、伸び伸びと学びを深めることができました。

現在は、東宝芸能所属の俳優として舞台や映画に出演しています。演出助手という役職で舞台に関わることもあります。

学校とは勉学に励む学び舎ではあるけれど、心や脳裏に残っている出来事や記憶もまた学校での学びだと考えています。梅光での学びのひとつに朝の

礼拝があります。全学年全教職員が講堂に集まり、それぞれの思いと共にひとときを過ごす。正直、時が流れるようにただそこにいる日もあれば、何かを考え想う日もありました。今でもあの不思議な空間と感覚は覚えています。

あの場で1日を始めるスタートが切れていたのだなと感じています。

戦時下を生き抜いた当時梅光生（大先輩）だった方々のインタビューを基に創られた「音楽劇 ハイニコポン」に今夏出演しました。実際に梅光で教鞭を執られていた水津先生を演じる中で、時代は違えど同じ梅光の教えを感じましたし、今も変わらず在り続けて欲しいなと思います。

濃くて決して忘れられないかけがえない学生生活。

あの日々があるから、今の私があります。



## 梅光メモリアルデー

7月4日(金)に2025年度梅光メモリアルデーが開催されました。

今年は日本キリスト教団長府教会の梅原久美子牧師のお話をいただき、故教職員や同窓生を偲び、御霊の平安をお祈りしました。



### 「マルタとマリアー信仰に生きる女性たちー」



日本キリスト教団長府教会  
梅原久美子

マルタとマリアというふたりの姉妹は対照的な性格の持ち主でした。マルタは社会的で活発で思いついたことを行動に移すタイプでしたが、マリアは静かで落ち着いた性格でした。マルタは大切なお客様のもてなしのためにせわしなく食卓を整えていました。ところが、マリアはイエスの足元にじっと座ってその言葉に耳を傾けていました。ただただイエスの存在だけがマリアのすべての関心を集めていました。

この様子を見て、忙しく立ち働いていたマルタはイエスに向かって文句を言いました。この文句は当時のユダヤ社会の常識にはむしろかなったものでした。当時、聖書の話教える先生の足元に座って話を聞くのは、その先生の弟子である男性が取る態度でした。反対に、台所で雑用をこなすのは典型的な女性の仕事でした。常識的に考えれば、マルタの文句は当時の社会通念に則ったもので、マリアの態度が常識はずれだったのです。

ところが、イエスはマリアを叱責するどころか、文句を言ったマルタのほうに警告を与えました。しかし、ここでイエスはマルタの台所での奉仕そのものを批判しているわけではありません。問題はマルタが多くのことの思い悩み、心を乱していることでした。

イエスにとって最も大切なことは、何よりも神の言葉に耳を傾け、聞き従うことでした。たとえマリアの態度が当時の社会的通念に反していても、マリアのように神の

言葉に聴き入るという態度を、イエスは何よりも重んじました。外に現れる行動、他人の目に触れる奉仕、確かに人はこれらの外面的行動をそつなくこなせば、他者からも、社会的にも高い評価を受けることができます。ところが、マリアは外に見える奉仕よりも、神の言葉に聴き入って自分の心を神に集中させるという内面的な奉仕を優先させました。このように心の内が神の言葉によって整えられて初めて、単なる外面的な社会的義務としてではなく、心からあふれ出る神への愛から自発的に奉仕することができるようになるからです。

さて、私たちは女性としてこの世で生きていく限り、マルタとマリアの両方の役割を人生のそれぞれの局面で果たしています。結婚をしている女性は夫の世話、子どもの養育、また年老いた義理の両親の世話などで、毎日せわしなく動き回っています。また独り身で職業を持っている女性もまた、奮闘しながら生活しています。いずれにしても、私たちはみな、いつまでも礼拝堂で聖書の話聞いているのではなく、それぞれが家庭や職場に帰れば、忙しくせわしなく立ち働かなければならない状況に置かれています。

梅光学院は現在、男女共学となっておりますが、もともとは女子教育の場として創立されました。海外から宣教師が日本に入ってきて最初に気が付いたのは、19世紀の日本では女子教育の場が不足しているということでした。当時、宣教師を主体にして創られたさまざまな女子教育の場では、英語や文学や聖書の学びが重んじられました。それはまさにひとりの人間の人生の土台を形成し、将来学院を巣立って、家庭や社会でさまざまな責任を負うための人格教育の土台作りだったのです。

# 一般社団法人梅光学院同窓会 第2回「会員の集い」ご報告

2024年12月1日(日)13:30～  
シーモールパレス エメラルドの間

恩師の先生十余名のご出席を得て、総勢90名ほどの人数で開催されました。

第2回「会員の集い」は、梅光時代のクリスマス礼拝を主軸に据え、懐かしい讚美歌やハレルヤコーラスを歌い、下関西教会の加藤俊英牧師のメッセージやハンドベルの音色に心癒されるひとときを過ごしました。また、礼拝後はハンドベル「Bell felice」の方々によるクリスマスメドレーの演奏、卒業生の有吉さやかさんのソロミュージカル「走れメロス」を、感動と共に堪能しました。歓談の時も本当に和気藹々とした楽しいひとときで、

2時間半が短く感じるほどでした。

本年度の「会員の集い」は、2025(令和7)年12月7日(日)の予定です。たくさんの方々のご参加をと願っております。  
(詳細は16ページ)



ハンドベル演奏 Bell felice 指揮：中山敦先生



メッセージ「愛の讃歌をあなたに」  
日本基督教団下関西教会  
加藤俊英牧師



## 梅光と私



有吉さやか  
(高48・音20)

The Lord is in His holy temple……

チャペルチャントから始まる礼拝は、ハンドベルの響きと共に一気に私を梅光時代へと連れ戻しました。

進路に悩みつつも合唱コンクールやクリスマス礼拝などのイベントに向けてクラス一体となって取り組んでいた日々。国立音楽大学リトミック科に進学すると、曲を生み出す喜びに目覚め、物語に音楽を歌詞作曲し、語りながら演奏するオリジナルの演奏スタイル「ソロミュージカル」の演奏活動を始めました。母校の梅光学院にも呼んでいただき、2004年の音楽科定期演奏会で「鶴の恩返し」を、2017年の同窓会では「スー

ホの白い馬」を披露させていただきました。

今回の「会員の集い」では、梅光時代の恩師、西嶋弥栄子先生が薦めてくださった太宰 治の「走れメロス」を演奏したいと思いました。初めての妊娠と重なり、つわりに悩みながら原作を読み返し、出産後は娘の昼寝の合間に作曲したこの作品は、時にはくじけそうになりながらもメロスが駆け抜けていく様と重なります。梅光への感謝の気持ちをこめて演奏させていただきました。演奏終了後は懐かしい先生方や、頼もしい後輩、たくさんの方から声をかけていただき幸せなひとときでした。

「続けていくことが大切」とのお言葉を胸に、また新たな作品作りに励んで参りたいと存じます。



ソロミュージカル  
太宰 治「走れメロス」

# 社員総会報告

議事録はホームページで閲覧できます

## ◆ 2024年度 第3回社員総会

2024年11月10日(日)

### 【議案審議報告】

- 議案1 学院との「建物使用貸借契約」について経過報告。  
 議案2 「同窓会誌第2号」については発行後の報告、「第2回会員の集い」「法人化記念講演会」についてはそれぞれ進捗状況が報告、承認され、継続作業となった。

## ◆ 2024年度 第4回社員総会

2025年1月26日(日)

### 【議案審議報告】

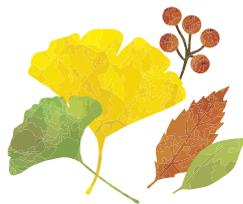
- 議案1 「第2回会員の集い」を終え、今後の方針と課題を確認。  
 議案2 学院との「建物使用貸借契約」について経過報告。  
 議案3 「法人化記念講演会」について当日の動きなど準備の詳細を確認。  
 議案4 社員が社員総会を欠席する場合の連絡を確認。

## ◆ 2025年度 第1回社員総会

2025年4月20日(日)

### 【議案審議報告】

- 議案1 「令和6年度活動報告・会計報告」「令和7年度活動計画・会計予算案」を承認。  
 議案2 学院との「建物使用貸借契約」については今までの同窓会の姿勢を継続する方針を確認。  
 議案3 クリスマスカード送付開始年齢については、新規送付開始年齢を85歳以上の同窓生からとすることを決議。ただし、現在送っている同窓生には継続して送付することとする。



## ご挨拶

中田 早苗 代表理事(会長)

会員のみなさまには同窓会活動にいつもご支援、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

おかげさまで、「法人化記念講演会—能is FUN!」は、同窓生みなさまの呼びかけにより、当日は幅広い世代の方が参集され、盛況の内に終えることができました。

「メモリアルデー」では、この1年間に天に召された恩師・同窓生の方々、特に長年同窓会の運営に携わってくださりこの春召天されたお二人の方を偲び、しめやかな時間の流れを共有する場となりました。

同窓会誌発行に際しては、快く寄稿してくださいました諸先生及び同窓生のみなさまへ、

この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

同窓会の主要な年間活動は、社員、理事、事務局が協議、協力して進めております。しかし、現在の社員、理事の任期(継続は最長3期まで)も残すところは短く、次年度の社員募集も始まっております。

同窓会は会員相互の活動と親睦の場であり、一人ひとりが実行しなければ継続的な活動の運営は望めません。みなさまのお力がぜひとも必要なのです。より一層の関心と興味を持って同窓会活動にご協力をいただきたくお願いいたします。

名実ともに豊かな一般社団法人梅光学院同窓会を共に築いていきましょう。

# 2024年度会計報告

## 2024(令和6)年度会計報告

(単位：円)

科目	2024年度予算	2024年度決算	差異
<b>収入の部</b>			
終身会費取崩し繰入収入	8,956,000	6,632,435	-2,323,565
入会金	10,000	6,000	-4,000
集いの会費	200,000	138,000	-62,000
受取利息	11,000	7,034	-3,966
運営費収入	1,700,000	1,299,906	-400,094
寄付金収入	0	0	0
<b>収入計</b>	<b>10,877,000</b>	<b>8,083,375</b>	<b>-2,793,625</b>
<b>支出の部</b>			
消耗品費	150,000	98,409	-51,591
給与手当費	1,500,000	1,721,625	221,625
旅費	500,000	131,570	-368,430
通信費	2,500,000	1,799,184	-700,816
印刷費	2,000,000	1,810,060	-189,940
行事・集会費	2,500,000	1,486,423	-1,013,577
交際慶弔費	200,000	20,608	-179,392
雑費	50,000	30,390	-19,610
光熱水費	90,000	70,357	-19,643
リース費	300,000	276,312	-23,688
支払報酬	500,000	550,837	50,837
教育支援寄付金	0	0	0
奨学金基金準備金	500,000	0	-500,000
支部支援金	0	0	0
広告宣伝費	66,000	66,000	0
租税公課	21,000	21,600	600
グッズ製作費	0	0	0
<b>支出計</b>	<b>10,877,000</b>	<b>8,083,375</b>	<b>-2,793,625</b>

## 2025(令和7)年度会計予算案

(単位：円)

科目	2024年度予算案	2025年度予算案	差異
<b>収入の部</b>			
終身会費取崩し繰入収入	8,956,000	6,741,000	-2,215,000
入会金	10,000	10,000	0
集いの会費	200,000	200,000	0
受取利息	11,000	11,000	0
運営費収入	1,700,000	1,500,000	-200,000
寄付金収入	0	0	0
<b>収入計</b>	<b>10,877,000</b>	<b>8,462,000</b>	<b>-2,415,000</b>
<b>支出の部</b>			
消耗品費	150,000	100,000	-50,000
給与手当費	1,500,000	1,750,000	250,000
旅費	500,000	150,000	-350,000
通信費	2,500,000	2,000,000	-500,000
印刷費	2,000,000	2,000,000	0
行事・集会費	2,500,000	500,000	-2,000,000
交際慶弔費	200,000	50,000	-150,000
雑費	50,000	20,000	-30,000
光熱水費	90,000	90,000	0
リース費	300,000	650,000	350,000
支払報酬	500,000	560,000	60,000
教育支援寄付金	0	0	0
奨学金基金準備金	500,000	500,000	0
支部支援金	0	0	0
広告宣伝費	66,000	70,000	4,000
租税公課	21,000	22,000	1,000
グッズ製作費	0	0	0
<b>支出計</b>	<b>10,877,000</b>	<b>8,462,000</b>	<b>-2,415,000</b>

### 貸借対照表

令和7年3月31日

現金	174,057	終身会費	60,421,955
預金	57,101,476	終身会費引当積立金	3,248,964
前払金	1,560	未払金	196,870
		預り金	41,739
		利益剰余金	-6,632,435
	57,277,093		57,277,093

上記令和6(2024)年度3月末決算及び貸借対照表の会計監査に関して帳簿・証憑書類等を監査いたしました。記載事項は事実に基づいており適正であることを認めます。

同窓会監理人 濱谷 伸任  
同窓会監理人 越智 咲子



# 社員募集!

同窓会員のみなさまへ。

あなたの意見を同窓会活動にぜひ反映させてください!

●任期●  
2026年4月  
～  
2028年3月末

Q 社団法人になって、何が変わったの?

A 総会の形が変わりました。同窓会の中から代表委員に当たる社員を選びます。その社員の方たちで、年3回程度社員総会という会議を持ち、同窓会のさまざまな事柄について方向性を話し合います。そのため、行事や取り組みたいことについて、社員の方の意見を反映しやすくなりました。

Q 社員にはどんな人になるの?

A 同窓会員ならどなたでもなれます。自薦他薦いずれでもOKです。遠隔地の方でズーム参加される方もおられますよ。いろんな意見を反映するためにも、各年齢層の方になってもらいたいです。

Q 社員に推薦したい、社員になりたい、そんなときはどうすればいい?

A 同窓会事務局にまずはご連絡を! メール・電話いずれでも結構です。手続きについて、すぐにご連絡します。

# 2024年度運営費寄付者名

みなさまのご支援に心より感謝申し上げます。(2024年4月1日~2025年3月31日までの受付)

※今年度よりご寄付いただいた方の旧姓は掲載しておりません

単位：千円

合計 1,299,906円

旧職	河田 修	6	高11	桐村亘子	3	高25	牟田律子	3
旧職	小山禎子	3	高11	菅長郁子	10	高26	砂田みどり	3
旧職	鈴木博行	3	高11	堀内紀代子	3	高27	大池 恵	3
旧職	峠口 新	30	高11	森田朋子	3	高27	鈴木智子	3
旧職	中野節子	3	高12	橋植公子	15	高27	横田のぞみ	6
旧職	中山 敦	3	高13	権藤市津代	3	高27	吉村弓子	3
旧職	西嶋奈美	9	高13	武内信恵	3	高28	中川道子	3
旧職	平野 清	3	高13	鶴田邦子	3	高28	中田早苗	50
旧職	安富恵子	3	高13	平岡宣恵	9	高29	佐藤久美	3
旧職	安富俊雄	6	高13	保坂美代子	3	高29	宮本まり子	3
梅23	飯豊スミエ	3	高13	村上知嘉子	3	高30音	明田恵美	3
梅31B	阿部敬子	3	高14	岡崎郁子	3	高32	岩男晶子	10
高2	大社淑子	3	高14	白須美砂子	20	高32	木村靖子	3
高2	岡田佳津	3	高14	武藤みどり	3	高32	原田麻里	9
高2	勝目良枝	3	高14	山下雅子	6	高33	大上純子	2
高3	堀 百合子	9	高15	有富洋子	6	高33	吉村純香	3
高4	村上睦子	3	高15	鈴木和子	3	高34	鈴木理恵	3
高5	藤井美保子	9	高15	鈴木千恵子	1	高35	西頭加織	3
高6	塩原栄子	3	高16	秋山敏恵	3	高35音	大塚真理子	3
高6	東原美智子	3	高16	安藤裕子	1	高36	日隈和代	3
高7	古賀清恵	10	高16	大原恭子	3	高38	稲岡昭子	3
高7	曾田邦子	3	高16	新納郁江	3	高41	櫻井敬子	3
高7	田中彰子	3	高17	木村加代	3	高43	植田みどり	9
高7	中野由己子	3	高17	田中展子	3	高43音	竹本優子	6
高7	三輪節子	3	高18	有田裕子	3	高57	松本由希	3
高7	行村君子	3	高18	小川博子	3	高60	安富 遥	3
高8	久保英子	18	高18	越智咲子	3	高61音	田村初音	6
高8	高橋宏子	20	高18	木村喜代子	3	高66音	江原千花	6
高9	安藤清子	3	高18	縄田恵子	30	短英1	阪本和子	3
高9	小倉ミチ子	3	高18	森本トヨ子	3	短英1	高橋みどり	3
高9	小園美智子	3	高18	山口治子	10	短英1	谷黒 睦	3
高9	小橋久仁子	3	高19	田淵れい子	5	短英1	遠山博野	3
高9	砂山千代子	3	高21	金沢寿栄子	3	短英1	野村佐登美	6
高9	松岡郁子	3	高21	来見秀代	3	短英1	宮佐充子	5
高10	神原満子	10	高21	山村倫子	3	短日1	谷川百枝	3
高10	田中美紗子	3	高23	中尾和子	3	短日2	勝本智子	3
高10	濱谷静枝	3	高24	城一道子	3	短日2	畠中節子	10
高10	藤井信子	3	高25	島津 撰	3	短英2	本村真理子	3
高10	松本さち子	3	高25	平尾律子	10	短日3	松村和代	10



短英3	武信直子	3
短英3	姫野美枝子	3
短日5	大西恵子	3
短日5	森川順子	30
短日6	島田好子	6
短英6	手島千恵子	3
短日8	宮崎悦子	6
短英8	川端佳子	3
短英9	竹内節子	3
短英10	藤本淑子	3
短英11	深堀尚子	3
短英11	古見邦子	10
短英12	森 玲子	3
短日13	田中恵美子	3
短英13	唐崎 泉	9
短日15	谷田ゆかり	10
短英15	秋岡幸子	3
短日17	井本紀久子	10
短英17	白石みゆき	3
短英19	佐野ちひろ	3
短英20	井上悦子	3
短英21	杉山久子	3
短日23	和田裕子	3
短英25	吉山美津子	3
短英27	小林智亜紀	3
短コ4日	大澤宣子	3
大1英	熊谷豊子	3
大1英	宝辺静子	3
大1英	徳永春子	3
大2日	井上知子	9
大2英	戸高恵以子	3
大2英	向野泰子	9
大2英	松井節子	3
大3英	内藤みゆき	3
大3英	松田妙子	3
大4日	志保みはる	5
大4英	大寺和美	3
大4英	御厨ひろみ	3
大6日	平川典子	3
大7英	磯谷由美	10
大8英	平田厚子	3
大9日	時岡範子	3
大9日	富田栄子	9
大9日	森田美智子	3
大9英	亀井由美子	3

大10日	若山邦美	3
大10英	池辺恭子	10
大10英	中溝美子	3
大10英	浜 裕子	3
大11英	龍崎美香	10
大13日	三浦美香子	3
大14英	伊藤知津子	3
大15日	中嶋まどか	3
大15英	森元妙子	9
大16日	植月明美	6
大16日	小川滋子	3
大16日	土河美枝子	10
大16日	野見山百葉	3
大17英	和田 操	10
大18日	野田和代	3
大18語	江後紀久子	3
大18語	河野行子	3
大20日	中田千尋	3
大20語	山本恭子	3

大25語	篠崎亜紀子	3
大28英	岡本典子	2
大30語	矢野真紀	3
大40英	垣田幸代	3
院前日2	藤原敦子	10
院前日3	林田千恵子	3
院前英4	吉川比登美	3
院前日5	大塚順子	9
院前英7	広岡淳子	3
院前日10	澤山淑子	3
院後日3	米谷悦子	12
院後日8	川口 香	3
博士日	鐘 俊梅	3
氏名記載不要	33名	182
高17同期会	残金	7
灯台守	柴口組	4,15
ベル・フェリーチェ		8
講演会	寄付	62,756
その他	寄付	2

## 卒業生総数

梅香崎	150
光 城	80
梅光(旧制)	2,413

高・中	13,939
短 大	13,996
大学・大学院	11,338
計	41,916

2025年3月31日現在



## 2024年4月から2025年3月までの物故者名簿

(同窓会事務局にお知らせがあった方)

御霊のうえに、そしてご遺族のうえに神さまのお慰めがありますように。

旧職	宮本幸治	逝去日不明	高9	原田早智子(原田)	2024.5.15
旧職	青木紀雄	2024.2	高10	大賀輝子(白野)	2023.12
旧職(高10)	倉重怜子(村田)	2024.12.17	高11	横山由美子(植田)	逝去日不明
梅27	広瀬優子(小松)	2024.3.19	高11	西田憲子(伊藤)	2023.12
梅28	竹田裕子	2024.10	高31	藤中貴子	2023.8.26
梅29	河村絢子(小田)	2023.6.9	高34	森島ゆかり(泉)	2024.6.11
梅30	安枝朝子(山本)	逝去日不明	高43	石橋鈴子(川越)	2023.1.25
梅31A	李 聖美(高)	2024.8	高48音	味崎友紀(村上)	2024.6.23
梅31B	今泉綾子(草薙)	逝去日不明	短英1(高16)	岩田範子(田嶋)	2024.10.26
梅31B	三浦美津子(岸本)	2024.7.19	短日1(高17)	藤井久美子(木川)	2021
梅32	出光澄子(冲山)	2022.12.22	短英5(高20)	臼井啓子	2023.3
梅32	大社貞子(大社)	2024.11.2	短英8	内田恵子(植田)	2024.4.14
梅33	岡野裕子(井本)	2023.12.9	短英9	高橋佳子(岡田)	2024.7.6
梅34	松野晶子(増井)	2024.2.4	短英12	中村多恵子(奥田)	2023.12.23
高2	小須田玲子(藤津)	2024.8.14	短日20	福原倫子(藤田)	2023.9.29
高3	太田陽美(橋本)	逝去日不明	短英23(高38)	亀村真佐美(田中)	2022.11
高3	田島志津子(長谷)	2023.1.24	短英24	桂 美江	2023.12
高3	堅田豊子(堅田)	2021.2.14	大2英	兼安本子	2010.12.10
高4	山本愛子(田村)	2022.7.12	大10英	木下淑子(松森)	2019
高6	大西敦子(山口)	2023.12.29	大12日	竹下真紀(深海)	2022.1
高7	植田美代子(植田)	2024.8.23	大19英	米谷まゆみ	逝去日不明
高8	末積三千子(岩下)	2024.5.8	大文51文際ビ	岡本 賢	2024.9.8
高9	田村安樹子(永井)	2023			

## 2025年度 一般社団法人梅光学院同窓会 第3回「会員の集い」のご案内

今年度の「会員の集い」は、クリスマス礼拝と茶話会の形で開催します。礼拝後はマリンバ演奏などの企画を準備しています。乞うご期待！みなさまのご参加をお待ちしております。



2025年12月7日(日)

場所／シーモールパレス エメラルドの間

●申し込み方法

会費／3,000円

同窓会誌に同封の振込用紙にて  
お願いいたします。

受付／12:30～ 開会／13:30～

締め切り 11月14日(金)

※プログラムの詳細については追ってホームページにてご連絡いたします。

### 同窓会運営費寄付のお願い

いつも運営費寄付にご協力いただきありがとうございます。

現在、同窓会員の増加を図ることが難しく、会費徴収がかつてのようにはできません。卒業式当日に書面での呼びかけを続けていますが、入会希望者はごくわずかです。

同窓会は運営費寄付と会費収入で活動しています。値上がりのニュースが毎日のように続く昨今ですが、1000円からの寄付も受け付けています。同封の振込用紙で振り込みできます。また同封用紙なしでも随時ゆうちょ銀行からの振り込みもできます。

みなさまのご協力を心よりお願いいたします。

#### 【お振込み先】

一般社団法人梅光学院同窓会  
郵便局振替口座記号番号  
01520-6-13100

### 2026年度 梅光メモリアルデーのご案内

日時／2026年7月4日(土)  
午後2時より

場所／下関市生涯学習プラザ DREAM SHIP  
2階「宙のホール」(多目的ホール)

みなさまのご参加をお待ちしております。  
※平服で結構です。

### 編集後記

- ◆一般社団法人梅光学院同窓会誌3号を発行いたします。会員のみなさまにとって、懐かしくも楽しい時間をひとときでも過ごしていただけると幸いです。
- ◆ご自身の近況を報告したいと思われた方は、次号以降に掲載させていただきますので、ぜひ事務局までご連絡ください。また「友人にこんな活動をしている人がいる」などの情報もお待ちしております。
- ◆ホームページで閲覧するので同窓会誌の郵送が不要な方は、メールにてお申し出ください。住所の変更などもメールにて承りますので、よろしくお願いいたします。

2025(令和7)年9月20日発行  
一般社団法人梅光学院同窓会  
〒750-8511 下関市向洋町1-1-1  
TEL. 083-227-1111  
編集発行人 中田早苗  
E-mail: info@baiko.net  
印刷 株式会社三和印刷社  
〒752-0927 下関市長府扇町9-1

同窓会事務局開室  
毎週火・金  
13:00～16:00



ホームページ  
<https://baiko.net>